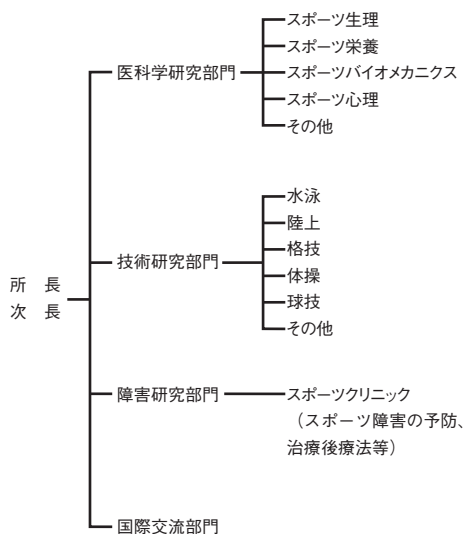


スポーツ医科学研究所 所報

スポーツ医科学研究所要覧

1. 研究機関名
和文名：東海大学スポーツ医科学研究所
英文名：Sport Medical Science Research Institute,
Tokai University
2. 所在地
東海大学湘南校舎
3. 設置年月日
昭和62年10月1日
4. 設置目的
本研究の設置の目的は、スポーツ・運動および、それに関連する健康の維持向上等に関する基礎的、応用的研究を行うとともに、競技力の向上、スポーツ障害の予防、対策等の新手法、新技術の開発とその応用の具体化、発展を期するところにある。このために総合大学としての特性を生かし、学際的知識を結集、総合的視野の上に立った研究を推進する。
5. 研究所組織



東海大学スポーツ医科学研究所規程

1987年10月1日 制定
2004年4月1日 改訂

第1章 総則

(定義)

第1条 この規程は、東海大学研究所規程第3条に基づき、東海大学（以下「本学」という。）付置研究所である、スポーツ医科学研究所（以下「本研究」という。）の適正な運営と組織について定めるものとする。

(目的)

第2条 本研究は、本学の総合大学としての特性を活かし、研究活動は広く学際的な視点からスポーツの実践と科学を融合させることを重要な基盤とし、スポーツにおける心身の効果的な育成と競技力向上のための基礎的・応用的研究及び、スポーツ障害の予防・治療技術の開発等、実践的研究を中心に推進する。また、その研究による成果は、単に本学の発展のみに留まらず、広く社会に還元し、人類の福祉と繁栄に貢献していくことを目的とする。

(事業)

第3条 本研究は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1)調査及び研究
- (2)調査及び研究の結果の発表
- (3)研究資料の収集、整理及び保管
- (4)研究会、講演会及び講習会等の開催
- (5)調査、研究の受託または指導
- (6)大学院レベルの学外機関研究者・研修員の教育及び研究指導
- (7)外部研究資金によるプロジェクト研究チームの公募及び支援
- (8)プロジェクト研究の支援
- (9)学内スポーツ振興のためのスポーツ医科学にかかわる支援

(10)地域住民を対象としたスポーツ医科学にかかわる支援

(11)その他、本研究の目的を達成するために必要な事項

(調査研究)

第4条 本研究所における調査研究の分野を次のとおり定める。

(1)医科学研究分野

運動の効用、健康の維持と向上、運動生理学、栄養学、メディカルチェックと運動処方、その他

(2)技術・体力研究分野

バイオメカニクス、心理学、運動技術の向上と指導法、トレーニング方法、その他

(3)障害研究分野

スポーツ・運動障害の予防、治療、競技復帰の指導、理学及び作業療法、その他

(4)その他の分野

国際交流及び各分野を統合した学際的研究、生涯スポーツの実施と指導、スポーツ競技に関する器具、機械、施設等の開発とその安全性、その他

(位置)

第5条 本研究所は、本学湘南校舎内に置く。

第2章 組織

(所長・次長)

第6条 本研究所の所長に関しては、本学研究所規程第4条によるものとする。

第7条 本研究所の次長に関しては、本学研究所規程第5条によるものとする。

第8条 本研究所の事業経過及び事業計画に関しては、本学研究所規程第6条によるものとする。

(研究所員)

第9条 本研究所の研究所員に関しては、本学研究所規程第8条によるものとする。

(研究員)

第10条 本研究所の研究員に関しては、本学研究所規程第9条によるものとする。

(嘱託)

第11条 本研究所の嘱託に関しては、本学研究所規程第10条によるものとする。

第12条 本研究所の事務職員に関しては、本学研究所規程第11条によるものとする。

(審査委員会)

第13条 本研究所に所員の研究活動、教育活動、学内活動、社会的活動等を多面的に評価審査することを目的として審査委員会を置くことができる。

2 審査委員会の委員は、学内外の学識経験者・有職者から構成するものとし、学長の承認を得て委託する。

3 審査委員会の規程については、別にこれを定める。

(プロジェクト研究チーム)

第14条 本研究所のプロジェクト研究チームを構成するものとする。チームメンバーは公募により選出し、審査委員会で審査を行い学長の議を経て選定されるものとする。

第3章 運営

(研究所員会議)

第15条 本研究所の研究所員会議に関しては、本学研究所規定第12条・第13条によるものとする。

2 ただし、本研究所の研究所員会議は、本学研究所規程第13条第2項により次の事項について審査する。

(1)人事に関する事項

(2)研究生及び研修員に関する事項

第4章 経理

(会計)

第16条 本研究所の経理に関しては、本学研究所規程第14条によるものとする。

第17条 本研究所の会計年度に関しては、本学研究所規程第15条によるものとする。

(外部研究費)

第18条 本研究所の外部研究費の受け入れに関しては、本学研究所規程第16条によるものとする。

(予算)

第19条 本研究所の予算に関しては、本学研究所規程第17条によるものとする。

(決算)

第20条 本研究所の決算に関しては、本学研究所規

程第18条によるものとする。

第5章 知的財産

第21条 本研究所の事業において発生した知的財産に関しては、本学研究所規程第19条によるものとする。

第6章 補足

第22条 この規程を改訂又は変更する場合には、研究所所員会議、本学研究所運営委員会の議を経て学長の承認を得るものとする。

付則

この規程は、昭和63年4月1日から施行する。

付則（2004年4月1日）

この規程は、2004年4月1日から施行する。

「東海大学スポーツ医科学雑誌」 寄稿規程

I. 和文規程

1. 本誌に寄稿できるのは原則として東海大学スポーツ医科学研究所所員及び研究員に限る。ただし編集委員が必要と認めた場合には、所員以外でも寄稿できる。
2. 寄稿内容は、スポーツ医科学の研究領域における総説、原著論文（査読あり）、研究報告、書評、内外の研究動向、研究上の問題提起など、その他とし、完結したものに限る。
3. 原稿の取捨および掲載の時期は、本誌編集委員会において決定する。
4. 本誌に掲載された原稿は、原則として返却しない。
5. 原稿はMS-Wordで作成し、A4版横書き、全角40字30行（英文綴りおよび数値は半角）、上下左右に約3cmの余白をとり、フォントの大きさは10.5ポイントとする。原稿及び図表は、データをメール、または電子媒体で提出する。外国語、外国固有名詞、化学物質名などは原語。外来語、動植物名などはカタカナ、数詞は算用数字を使用

する。単位及び単位記号は国際単位系、メートル法を基準とする。項目わけは、……Ⅰ、……Ⅱ、……1、2、……1)、2)、……(1)、(2)……a)、b)……(a)、(b)、とする。

6. 総説、原著論文、研究報告の原稿は、原則として1篇につき、図表、抄録等を含めて刷り上がり10ページ以内、書評、内外研究動向、研究上の問題提起の場合は、刷り上がり1ページ以内とする。
7. 図表は原則として8枚以内とし、そのまま印刷できるような鮮明なものとする。写真は白黒・カラーの別を問わない。
8. 図や表には、それぞれに必ず通し番号と、タイトル（表の場合は上方に、図の場合は下方に、和文を上として、和欧両文で記入）をつけ、1枚ずつ台紙か原稿用紙に貼り、本文とは別の番号順に一括する。図表の挿入箇所は、本文原稿の欄外に、赤インクでそれぞれの番号によって指示する。
9. 引用・参考文献は、原則として、本文の最後に引用順に一括し、雑誌の場合には、著者・題目・雑誌名・巻号・ページ・西暦年号の順とし、単行本の場合には、著者・書名・版数・発行所・西暦年号・ページの順に記載する。著者連名の場合は、省略しないで氏名を全部掲げる。なお、引用及び注記は本文中文献引用箇所の右肩に、1)、2)のごとく、引用文献数字を挿入する。
10. 総説、原著論文、研究報告の原稿には、必ず別紙として、欧文規程5. a). b). c) に従った欧文（原則として英語）による300語以内の抄録を添える。なお、同時に欧文抄録の和訳文を添付することを原則とする。
11. 掲載論文の別刷りは発行しない。
12. 本誌に投稿される論文は、研究計画で「人を対象とする研究」を行う場合、本学もしくは学会等が指定する研究倫理委員会の審査を受けなければならない。また、「動物を対象とする研究」を行う場合は、同様に動物実験委員会の審査を必要とする。なお、審査結果については、論文中に明記すること。
13. 掲載される論文は「東海大学機関リポジトリ規程」に従い当該リポジトリに登録され、インターネット上で公開される。

14. 寄稿論文は下記に送付する。

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目四丁目1番1号
東海大学スポーツ医科学研究所
スポーツ医科学雑誌編集委員会
Mail : spoiken@tsc.u-tokai.ac.jp

II. 欧文規程

1. 2. 3. 4. は、和文規程と同じ
5. a) 原稿は、欧文（原則として英語）とし、A4版の用紙に、通常の字体を使ってタイプ書きにする。写真図版にある文字についても同様とする。
b) 用紙の上端、下端および左端は約3センチ、右端は約2.5センチの余白を置き、ほぼ27行にわたって書く。ページ番号は下端余白中央に書く。
c) 欧文による題目の下に著者名（ローマ字）、更に著者名の下に所属する機関名を正式英語名称に従って書く。
6. 原稿は原則として1篇につき、図表抄録を含めて刷り上がり10ページ以内とするが（刷り上がり1ページは、おおよそ600語である）。
7. 8. 9. は、和文規程と同じ。
10. 原稿には、必ず別紙として、和文による題目・著者名・所属機関および抄録（600字以内）を添える。
11. 12. 13. 14. は、和文規程と同じ。

附則 この規程は2019年12月1日から適用する。

東海大学スポーツ医科学研究所 スポーツ医科学雑誌編集委員名簿 (2016. 4. 1)

- 1 委員長 宮崎 誠司
- 2 委員 有賀 誠司
- 3 委員 小山 孟志
- 4 委員 山田 洋

2020年度 スポーツ医科学研究所 所員・研究員名簿

1. 所長 宮崎 誠司 兼任 体育学部武道学科
2. 特任 加藤 健志 スポーツ医科学研究所
3. 特任 小山 孟志 スポーツ医科学研究所
4. 特任 丹治 史弥 スポーツ医科学研究所
5. 有賀 誠司 兼任 健康学部健康マネジメント学科
6. 内山 秀一 兼任 体育学部体育学科
7. 高妻 容一 兼任 体育学部競技スポーツ学科
8. 西出 仁明 兼任 体育学部競技スポーツ学科
9. 花岡美智子 兼任 体育学部競技スポーツ学科
10. 植村 隆志 兼任 体育学部競技スポーツ学科
11. 両角 速 兼任 体育学部競技スポーツ学科
12. 山田 洋 兼任 体育学部体育学科
13. 小河原慶太 兼任 体育学部体育学科

研究員

- 1 宮崎 誠司 体育学部武道学科
- 2 加藤 健志 スポーツ医科学研究所
- 3 小山 孟志 スポーツ医科学研究所
- 4 丹治 史弥 スポーツ医科学研究所
- 5 有賀 誠司 健康学部健康マネジメント学科
- 6 内山 秀一 体育学部体育学科
- 7 高妻 容一 体育学部競技スポーツ学科
- 8 西出 仁明 体育学部競技スポーツ学科
- 9 花岡美智子 体育学部競技スポーツ学科
- 10 植村 隆志 体育学部競技スポーツ学科
- 11 両角 速 体育学部競技スポーツ学科
- 12 山田 洋 体育学部体育学科
- 13 小河原慶太 体育学部体育学科
- 14 陸川 章 体育学部競技スポーツ学科、
スポーツ教育センター
- 15 田村 修治 体育学部競技スポーツ学科

- 16 今川 正浩 体育学部競技スポーツ学科
 17 吉岡公一郎 医学部循環器内科
 18 積山 和明 体育学部競技スポーツ学科
 19 灰田 宗孝 医療技術短期大学
 20 藤井 壮浩 体育学部競技スポーツ学科
 21 栗山 雅倫 体育学部競技スポーツ学科
 22 八百 則和 体育学部競技スポーツ学科
 23 山本 義郎 理学部数学科
 24 槌谷 和義 工学部精密工学科
 25 小金澤剛一 工学部機械工学科
 26 渡辺 雅彦 医学部整形外科
 27 内山 善康 医学部整形外科
 28 上水研一朗 体育学部武道学科
 29 井上 康生 体育学部武道学科
 30 今井 洸 医学部整形外科
 31 酒井 大輔 医学部整形外科
 32 塚田 真希 体育学部武道学科
 33 大川 康隆 体育学部武道学科
 34 小澤 翔 体育学部競技スポーツ学科
 35 遠藤 慎也 健康学部健康マネジメント学科
 36 西垣 景太 健康学部健康マネジメント学科
 37 岡本 武志 健康学部健康マネジメント学科
 38 石井 直明 健康学部健康マネジメント学科
 39 小西 康仁 体育学部競技スポーツ学科
 40 武田 大輔 体育学部生涯スポーツ学科
 41 八田 有洋 体育学部生涯スポーツ学科
 42 萩 裕美子 体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科
 43 野坂 俊弥 体育学部生涯スポーツ学科

その他研究に携わる者

- 1 酒井 健介 城西国際大学薬学部医療薬学科
 2 菊池 真也 独立行政法人日本スポーツ振興センター
 3 春日井亮太 東海大学非常勤講師
 4 長尾 秀行 国立スポーツ科学センター
 5 村井 楓子 株式会社 DKH
 6 小山 佳奈 東海大学非常勤講師
 7 西村 典子 スポーツ教育センター
 8 山田 知美 筑波スポーツ科学研究所
 9 佐藤幸一郎

- 10 清水 重幸 戸塚共立第2病院
 11 小澤 悠 東海大学非常勤講師
 12 名取 謙 スポーツ教育センター
 13 堀 幸奈 スポーツ教育センター

2020年度スポーツ医科学研究所 プロジェクト研究課題

- 2018-01 スポーツ活動におけるパフォーマンス向上のためのコンディション評価とコンディショニング
 2018-02 スポーツ外傷・障害（内科的、外科的）予防
 2018-03 様々な運動動作のパフォーマンス分析
 2018-04 競技力向上、健康増進のためのコンディション向上のための新手法の開発